

# ITU-R SG7 WP 7B 会合(2025年9月) 報告書(案)

## 1. 会合の名称

ITU R Study Group 7(SG7) Working Party 7B (WP7B)  
(宇宙研究、宇宙運用及び気象衛星等の宇宙無線システムに関する作業部会)

## 2. 開催日程

2025年9月16日(火)~9月24日(水)

## 3. 開催場所

スイス連邦ジュネーブ ITU 本部及びリモート会議

## 4. 会合の位置づけ、参加者及び入力文書

WP 7Bは、科学業務を扱う第7研究委員会(SG7)の作業部会であり、宇宙研究(SRS)、宇宙運用(SOS)、気象衛星(MetSat)等の宇宙無線システムを扱っている。

WP 7B 会合は、Catherine Sham 氏(米国)が議長を務め、今会合においては、表 1 に示す Working Group(WG)が設置された。副議長は Kevin Knights 氏(オーストラリア)及び Ted Berman 氏(米国)が務める。

40 か国の主管庁、その他団体・組織及び ITU 事務局から合計 251 名が出席した。日本からは、表 2 に示す14 名が出席した。

本会合においては **42 件の入力文書**について審議が行われ、**計 19 件の出力文書**が作成された。

表 3 に日本寄与文書の審議結果、表 4 にプレナリで審議された出力文書と結果一覧、表 5 に WP7B への入力文書一覧を示す。

表 1 WP 7B の審議体制

WP/WG/DG	検討案件	議長
WP7B Plenary	WG に割り当てられない文書、及び複数の WG で作業を分担する文書	Catherine Sham 氏 (米国)
DG Space Research Com Handbook※	宇宙探査通信ハンドブック改訂草案	福原好晴氏(日本)
WG7B-1	静止衛星及び静止軌道以下の SRS 及び SOS 等 ・ WRC-27 議題 1.1, 1.2, 1.6, 1.7, 1.11 (SOS s-E 関連), 1.12, 1.13, 1.14 を含む	Ted Berman 氏 (米国)
WG7B-2	WRC-27 議題 1.15 関係 (静止軌道以遠の宇宙研究業務及び宇宙運用業務等)	Kevin KNIGHTS 氏 (オーストラリア)
DG RLS to WP4C on AI1.11,1.13	WRC-27 議題 1.15 と議題 1.11 及び議題 1.13 にて重複している検討対象周波数に関する WP4C 宛てリエゾン文書案の作成	Dennis LEE 氏(米国)
WG7B-3	地球探査衛星業務 (EESS) 及び気象衛星 (MetSat) 業務等 WRC-27 議題 1.11 (EESS)、1.12, 1.13, 1.14, 1.17, 1.19 関連を含む	Philippe Tristant 氏 (フランス/欧州気象衛星開発機構)

※前回まで WP7B-2 で作業を進めた宇宙研究通信ハンドブック (Space Research Communication Handbook) の改訂作業についても、プレナリでメール DG を設置して審議した。

表 2 日本からの出席者(敬称略・順不同)

氏名	所属
1 糸 将之	総務省 総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課
2 飯塚 悠太	総務省 総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課
3 横山 隆裕	一般社団法人電波産業会 研究開発本部
4 橋本 昌史	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
5 市川 麻里	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
6 廣谷 奈々美	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
7 岩名 泰典	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
8 福原 好晴	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室
9 増田 宏一	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 (宇宙技術開発株式会社)
10 三留 隆宏	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 (スカパーJSAT 株式会社)
11 片山 麻衣子	ワシントンコア L.L.C.
12 地引 史子	ワシントンコア L.L.C.
13 福井 裕介	KDDI 株式会社 コア技術統括本部 技術企画本部 衛星統括部 企画 G
14 伊藤 直	KDDI 株式会社 先端技術統括本部 先端技術企画本部 先端企画統括部 企画 G

表 3 WP 7B への日本寄与文書の審議結果

文書番号 7B/*	件名	担当 WG	審議結果	出力文書 7B/TEMP /*
171	ITU-R 新勧告草案 SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR]の修正提案	WG7B-1	他の寄与文書の提案と合わせて新勧告草案に反映され、次回会合に持ち越し。	77
172	ITU-R 報告 SA.2488-0 改訂草案に向けた作業文書の修正提案	WG7B-3	提案は作業文書に反映され、次回会合に持ち越し。	70
173	WRC-27 議題 1.13 に関連した WP4C 宛リエゾン文書送付の提案	WG7B-1	提案通りリエゾン文書案を作成し、WP4C に送付。	68
174	宇宙研究通信に関するハンドブック改訂案の修正提案	Plenary	他の寄与文書の提案と合わせてハンドブック改訂案に反映され、次回会合に持ち越し。	84

## 5. 審議の内容

### 【WP 7B プレナリでの審議】

Catherin Sham 氏(米国)が議長を務め、プレナリに割り振られた入力文書、各 WG からの出力文書について審議した。審議された出力文書と結果を表 4 に示す。

なお、本会合では SG7 へ上程する文書はなかった。

表 4 プレナリで審議された出力文書と結果一覧

文書番号 7B/TEMP /**	題目	入力文書 7B/xx	審議結果
66	Draft reply liaison statement to Working Party 4A - WRC-27 agenda item 1.2: Characteristics of space research service systems operating in the 13.75-14.0 GHz band	158、185	WP4A に送付
67	Draft reply liaison statement to Working Party 5D - Coordination between space research service (deep space) stations operating in the band 7 145-7 190 MHz and IMT stations operating in the band 6 425-7 125 MHz	165、169、186	WP5D に送付
68	Liaison statement to Working Party 4C - Amendment to technical information and request for clarification concerning studies on WRC-27 agenda item 1.13	173	WP4C に送付
69	Draft reply liaison statement to ITU-R Working Party 4C regarding calculations on overlaps between WRC-27 agenda items 1.11/1.13 and 1.15	153、180、181	WP4C に送付
70	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SA.2488-0 - Characteristics to be used for assessing interference to systems operating in the Earth exploration-satellite and meteoro-	150 Annex 6, 172	議長報告添付 Annex 9

文書番号 7B/TEMP /**	題目	入力文書 7B/xx	審議結果
	logical-satellite services, and for conducting sharing and compatibility studies		
71	Working document in support of possible report ITU-R SA.[EESS UPLINKS-23GHZ] - Potential future EESS (Earth-to-space) in the 22.55-23.15 GHz band	150 Annex 9、176	議長報告添付 Annex 8
72	Working document in support of possible ITU-R SA.[EESS-DOWNLINKS-37.5 TO 52.4 GHZ] - Potential future EESS (space-to-Earth) in the frequency range [37.5-52.4 GHz]	150 Annex 10、177	議長報告添付 Annex 7
73	Working document toward a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SA.514-3 - Interference and sharing criteria for command and data transmission systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services	150 Annex 8	議長報告添付 Annex 6
74	[Working document towards a] preliminary draft new Report ITU-R SA.[EESS NGS 7-8GHZ] - Evolution of Earth exploration-satellite service systems in the frequency range 7 190 to 8 400 MHz	150 Annex 7、189	議長報告添付 Annex 5
75	Terms of Reference for Correspondence Group on the derivation of EESS link budgets to be used for the revision of Recommendation ITU-R SA.514	—	合意に至らず、CGは設置されなかった
76	Working document toward preliminary draft new Report ITU-R SA.[FUTURE LUNAR COMMUNICATION AND SYSTEMS STUDY] - Radiocommunication needs for future lunar vicinity activities beyond space research and consideration of associated radiocommunication services and sufficiency of existing regulatory provisions	179	議長報告添付 Annex 4
77	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems in the 2 025-2 120 MHz frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing and compatibility studies	Annex 5、167、171、184、187	議長報告添付 Annex 10
78	Annex XX to Working Party 7B Chair's Report - [Working document towards a] preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] - Sharing studies of space research systems for lunar operations under WRC-27 agenda item 1.15	150 Annex 1、168、170、175、178、183、188	議長報告添付 Annex 1
79	Annex XX to Working Party 7B Chair's Report - Revised work plan for WRC-27 agenda item 1.15 and Resolution 680 (WRC-23)	150 Annex 3	議長報告添付 Annex 3

文書番号 7B/TEMP /**	題目	入力文書 7B/xx	審議結果
80	Annex x to Working Party 7B Chairman's Report - Review of Recommendations under the purview of Working Party 7B	277 Annex 2(前会期の文書)	議長報告添付 Annex 11
81	Annex XX to Working Party 7B Chair's Report - Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.15	150 Annex 2, 134	議長報告添付 Annex 2
82	Draft liaison statement to ITU-R Working Parties 3J, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A, 7C and 7D - Report on progress of activities relating to WRC-27 agenda item 1.15	—	議題の寄与グループに送付
83	Liaison statement to ITU-R Working Parties 4A, 4C, 5B and 5C - Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.15	—	WP4A に送付
84	Proposal for update on the draft revision of the Handbook on Space research communication	150 Annex 11, 166, 174	議長報告添付 Annex 12

## 【主な議論】

### (1) プレナリに割り振られた入力文書

- ・ 前回 WP7B 会合議長報告(7B/150)  
特段の議論はなく承認された。
- ・ 2025年3月 SG7 会合報告  
前回 SG7 会合の結果のうち、WP 7B に関連する項目として、以下の事項が報告され、了知された。
  - 宇宙探査ハンドブックの改訂案については、WP 7B で承認できるよう権限が委譲された。  
※同ハンドブックの審議は、本会合では WP 7B プレナリで行い、承認を目指すことが確認された。
  - ITU-R 新勧告案 SA.[2GHz.SOS.CHAR] (※ITU-R 勧告 SA. 2169) 及び ITU-R 勧告 SA.2141-0 改訂案は、いずれも PSAA に付され、承認された。
  - ITU-R 新報告案 SA.[LUNAR.SRS STATIONS CHAR] は承認された。(※ITU-R 報告 SA.2553)
- ・ 第 32 回 RAG の結果(7B/155)
  - 2025 年 5 月に開催された第 32 回 RAG(Radiocommunication Advisory Group) 会合の主な結果を知らせる文書が紹介され、了知された。
  - これと関連して、各WGやDGにおける審議の論点や直面した問題点についてまとめた簡易レポートを最終プレナリまでに公表するとの助言を順守するようイランから要望され、WP議長が善処する旨返答した。
- ・ 外部からのリエゾン文書

## ITU-R の他 WP からの文書

ITU-R の他 WP から情報として送付された下表のリエゾン文書はすべて一括で了知された。

文書番号 7B/**	送付元	件名
154	WP4C	WRC-27 議題1.11 の関連 WP に対して進捗を知らせるリエゾン文書
157 Rev.1	WP4A	WRC-27 議題 1.7 関連 WP5D 宛リエゾン返書
159	WP3M	WRC-27 議題 1.19 関連 WP7C 宛リエゾン返書
160	WP3M	WRC-27 議題 1.17 関連 WP7C 宛リエゾン返書
161	WP3M	WRC-27 議題 1.2 関連 WP4A 及び WP5B 宛リエゾン返書
162	WP3M	WRC-27 議題1. 11、1. 12、1. 13、1. 14関連 WP4C 宛リエゾン返書
164	WP3K&3M	WRC-27 議題 1.7 関連 WP5D 宛リエゾン返書

## WMO からのリエゾン文書

WMO の各 WRC 議題に関する見解を説明する文書が送付された(7B/152)。本 WP においては 22.55-23.15 GHz 帯に EESS(E-s)の一次分配を検討することを求める WRC-31 暫定議題 2.1 のみが本 WP に関連する箇所として審議された現在、EESS のダウンリンク用周波数として分配されている 25.5-27 GHz(s-E)と対をなすものであるとして WMO は支持を表明している。将来の WRC 議題に関する内容であるため、情報として了知した。

### (2) WP7B 外へ出力する文書の検討

- ・ 他 WP 宛リエゾン文書

以下 6 件のリエゾン文書案が承認された。

文書番号 7B/TEMP/ **	主な 送付先	題目・内容	担当 WG
66	WP4A	WRC-27 議題 1.2	7B-1
67	WP5D	SRS(深宇宙)と IMT の局に関する新報告草案 M.[SRS-IMT](WRC-23 議題 1.5)	7B-1
68	WP4C	WRC-27 議題 1.13	7B-1
69	WP4C	WRC-27 議題 1.11/1.13 と 1.15 の重複周波数	7B-2
82	3J、4A、 4C、5A、 5B、5C、 5D、7A、 7C、7D	WRC-27 議題 1.15 関連作業の進捗	7B-2
83	4A、4C、 5B、5C	WRC-27 議題 1.15 に関する進捗報告	7B-2

なお、本会合では SG7 へ上程する文書はなかった。

### (3) WP 7B にて更なる検討を要する文書の検討

以下の文書を議長報告書に添付し、継続審議とすることとした。WRC-27 議題 1.15

に関する新報告草案を含む 2 件の作業文書のステータスを草案へと格上げすることが提案されたが、作業文書の格上げは認めないとする一部参加者の反対があり、いずれの文書についても格上げは見送られた。

<Plenary>

- ・ ITU-R ハンドブック改訂案の更新(TEMP/84)
- ・ WP7B が担当する ITU-R 勧告の見直し(TEMP/80)

<WP7B-1>

- ・ ITU-R 新勧告草案 SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR](TEMP/77)

<WP7B-2>

- ・ ITU-R 新報告草案 SA.[FUTURE LUNAR COMMUNICATION AND SYSTEMS STUDY]に向けた作業文書(TEMP/76)
- ・ ITU-R 新報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES]に向けた作業文書(※格上げに合意できず、作業文書のまま持ち越し)(TEMP/78)
- ・ WRC-27 議題 1.15 に関する作業計画(TEMP/79)
- ・ WRC-27 議題 1.15 の CPM テキスト案に向けた作業文書(TEMP/81)

<WP7B-3>

- ・ ITU-R 勧告 SA.514 改訂草案に向けた作業文書(TEMP/73)
- ・ ITU-R 報告 SA.2488 改訂草案に向けた作業文書(TEMP/70)
- ・ ITU-R 新報告草案 SA.[EESS NGS 7-8GHZ]に向けた作業文書(TEMP/74)(※格上げに合意できず、作業文書のまま持ち越し)
- ・ WRC-31 暫定議題 2.10 及び 2.11 に関連して作成が提案されている新報告草案に向けた作業文書の要素2件
  - ITU-R 新報告 SA.[EESS UPLINKS-23GHZ]作成の補助資料に向けた作業文書(WRC-31 暫定議題 2.10)(TEMP/71)
  - ITU-R 新報告 SA.[EESS-DOWNLINKS-37.5 TO 52.4 GHZ]作成の補助資料に向けた作業文書(WRC-31 暫定議題 2.11)(TEMP/72)

(4) CG 設置の提案

WG7B-3 にて設置が提案された ITU-R 勧告 SA.514 改訂に係る Correspondence Group(CG)については、主にイランから、WRC 議題と一部関わる可能性がある既存業務の保護基準を CG で議論することに強い反対が表明され、設置されないことになった。

(5) 次回会合の日程

次回会合(2026 年前半)の日程は、会合終了時には調整中とされていたが、後日、2026年3月2日(月)から12日(木)とする日程が公表された。

以下に各トピックの審議内容(WG・プレナリでの議論)を報告する

## 5.1. 静止衛星及び静止軌道以下の SRS 及び SOS 等

WG7B-1 にて議論が行われ、Ted Berman 氏(米国)が議長を務め、静止衛星及び静止軌道以下の SRS 及び SOS 等に関する内容について審議した。

### 【主な検討案件と審議結果】

1. ITU-R 新勧告草案 SA.[2 GHz SRS & EESS CHAR]については、早期の ITU-R 新勧告案への格上げを断念し、他の類似勧告・報告との差別化や統合の可能性を模索することになった。
2. WRC-27 議題 1.2 に関連して、WP4A からの問い合わせへのリエゾン返書案は WP7B プレナリに上程され、議長報告に添付し継続審議とすることとなった。
3. WRC-27 議題 1.13 に関連した WP4C 宛リエゾン文書案を WP7B プレナリに上程され、議長報告に添付し継続審議とすることとなった。
4. SRS(深宇宙)と IMT 局の調整に関する新報告草案 M.[SRS-IMT]について意見を述べる WP5D 宛リエゾン返書案は WP7B プレナリに上程され、議長報告に添付し継続審議とすることとなった。
5. WG7B-1 が担当する ITU-R 勧告と研究課題のリストを確認し、情報を更新した。

### 5.1.1. ITU-R 新勧告草案 SA.[2 GHz SRS & EESS CHAR]

入力文書： 7B/150 Annex 5(WP7B 議長)、167(インド)、171(日本)、184(米国)、187(カナダ)

出力文書： 7B/TEMP/77

- ITU-R 新勧告草案 SA.[2 GHz SRS & EESS CHAR](干渉評価及び共用検討に使用される、2025-2120 MHz 帯を使用する EESS 及びSOSの技術及び運用諸元)については、2025年3月会合において新勧告案としてSG7に上程することが提案されていたが、掲載されているシステムのすべての地球局の所在地が米国であり、将来的な共用検討への適用時に汎用性に欠ける可能性があるとの懸念が表明され、所在地を削除する、あるいは地球上の別の場所に地球局が存在するシステムを追加するなどの方法が検討された。前回会合においては十分な情報収集や議論はできなかったことから新勧告案への格上げは見送られ、今回会合での完成を目指して他国の宇宙機関等からの情報提供の呼びかけとともに、新勧告草案として議長報告に添付された(7B/150 Annex 5)
- 今回会合では、インド(7B/167)、日本(7B/171)、米国(7B/184)、カナダ(7B/18)から、該当するシステム諸元の追加や修正案が提案された。掲載されるシステムの中に、諸元が類似するものも存在するとして統合が検討されたが、大幅なシステム数の削減には至らなかった。
- また、これまでの記載方法では、宇宙間リンクの送信側と受信側のシステムの対応が不明だったことから、システム名を対応するアルファベット+数字の形とすることで、対応するシステムを明示する方法が取られた。その他、表の整理を行うなどして、可視性の向上が図られた。
- しかし、ESAから本新勧告草案については、前回会合までに完成した 2GHz 帯の SOS システムの技術運用特性を含む ITU-R 勧告 SA. 2169、及び様々な周波数帯で運用される EESS システムの技術特性をまとめた ITU-R 報告 SA.2488 との区

別が明示されていないため、特定のシステムについてはどの勧告または報告を参照すべきかが不明であること、同じシステムが SRS と SOS の業務に使用されることなどから、含まれるシステムが重複する場合があることなどの問題が指摘された。オフラインでの協議を続けたものの明確な解決法を見出すことができなかった。このため、今回合会での新勧告案への格上げは見送られ、他の関連文書との統合や整理を含めた対応を検討することになった。これに伴い、掲載されているシステムの統合・整理も次回までに検討することが推奨された。

<審議結果>

- 新たに提供されたシステムの諸元を追加し、未解決の問題についての Editor's Note を追加した新勧告草案を議長報告に添付した(TEMP/77)
- 本文書については今研究会期内をめぐり、既存勧告とのより明確な差別化、または統合などを含めた議論をしていくことになった。

### 5.1.2. WRC-27 議題 1.2(Ku 帯における地球局の小口径アンテナの使用)関係

入力文書: 7B/158(WP4A)、185(米国)

出力文書: 7B/TEMP/66

- 本 WP が寄与グループとなっている WRC-27 議題 1.2 に関連して、WP7B からは、13.75-14.0GHz 帯の SRS システム特性に関する情報を提供するリエゾン文書(4A/240)を送付済みであったところ、このリエゾン文書に対し、WP4A からは一部の情報には矛盾があるとして追加情報の提供依頼、および WP4A の提案パラメータ案の検討を依頼するリエゾン文書が送付された(7B/158)。
- これに対し、米国から 13.75-14.0GHz 帯の SRS システムに関するパラメータを確認・補足し、研究進捗の共有を依頼するリエゾン文書案が提出された(7B/185)。

<審議結果>

- 本件については特段の議論なく、米国の提案したリエゾン文書案に編集上の修正を行ったリエゾン文書案(TEMP/66)が作成され、プレナリで承認された。

### 5.1.3. WRC-27 議題 1.13(地上 IMT 補完のための移動衛星への追加分配)関係

入力文書: 7B/173(日本)

出力文書: 7B/TEMP/68

- 本 WP が寄与グループとなっている WRC-27 議題 1.13 に関連し、2024 年 10 月会合において WP7B から WP4C 宛に送付したリエゾン文書を送付済みである(4C/196)。
- 今回 WP7B 会合では、WP7B から提供済みの情報の訂正(System F の高度の修正)及び、同議題のための共用検討に関する新報告草案に向けた作業文書(4C/356 Annex 7)に含まれる System 3 にパラメータを追加することを求める内容のリエゾン文書を送付することを提案する寄与文書を我が国から提出した(7B/173)。
- 米国から、日本の提案のうち 2 番目の項目について、日本が WP4C への寄与文書として提出するのではなく、WP7B からのリエゾン文書とする意義についての質問があった。日本からは、WP7B から過去に提供した情報であることなどから、WP7B か

らのリエゾン文書の形で送付するのが適切である旨が説明された。

<審議結果>

- 日本の寄与文書に編集上の修正を行ったリエゾン文書案を作成した(TEMP/68)。プレナリに上程され特段の議論はなく承認された。

#### 5.1.4. ITU-R 新報告草案 M.[SRS-IMT]に関する WP5D 宛リエゾン文書

入力文書: 7B/165(WP5D)、169(ロシア)、186(米国)

出力文書: 7B/TEMP/67

- WRC-23 の結果、6425-7125MHz 帯が新たに IMT 特定されたことを受け、WP5D では決議 220(WRC-23)に基づき、当該周波数帯で運用される IMT 局と、近接する 7145-7190MHz 帯で運用される SRS(深宇宙)地球局の調整の可能性に関する研究が行われており、ITU-R 新勧告/報告草案 M.[SRS-IMT]の策定が進められていた。今回会合には、WP5D から 6/7 月会合において当該文書は ITU-R 勧告ではなく ITU-R 報告とすること、及び作業文書は新報告草案に格上げされ、2025 年 10 月の会合で完成させる予定であるとの進捗を通知し、同草案へのコメントを求めるリエゾン文書が送付された(7B/165)。
- WP5D からの問い合わせに対し、ロシア(7B/169)と米国(7B/186)からリエゾン返書を提案する寄与文書が提出された。それぞれの内容に重複や対立する内容はなかったことから、米国とロシアの提案を統合したリエゾン文書案が作成された。
- ロシアの提案した部分については、米国及び中国から、WP5D に対してより望ましい計算方法を指示し、具体的な計算結果を提示している点について懸念が示されたため、最新版の ITU-R 勧告 P.2108 を使用する代替として、ITU-R 勧告 P.452 の最新版を実際のクラッタ損失プロファイルと合わせて使用することができるとの書きぶりに改めた。
- 米国からの提案は Table 1 にある宇宙研究業務(深宇宙)の地球局の送信特性は問題ないが、Tables B-1、C-1 及び D-1 において、同じ特性が記載されていることから、表をまとめた方がわかりやすいことを指摘するほか、また、Annex C において算出された調整距離は、Annex B 及び D と比べて非常に小さいため、各検討における違い、特にクラッタ損失及び地平線方向の宇宙研究業務(深宇宙)アンテナ利得の仮定に関して、明確化を求める内容であり、特に問題なく追加された。
- また、ESA からは、これまでの WP5D における議論の中で、明確な返答が得られていない要素として、ITU-R 勧告 P.452 の適用時に使用するべき時間率の基準が不明確である点が指摘され、時間率を 50%としている根拠についての問い合わせも含めることが提案された。提案について強い反対はなかったものの、ロシアから WP5D からの返答を求めるのであれば文書の完成の延期を求めることになるとの懸念が示されたため、本件に関するリエゾン文書による返答を求める記載は避け、当該新報告案にはこの点を含めるようにとの書きぶりとする事で合意した。
- カナダからは電波伝搬モデルの使用については専門家グループ(SG3)に改めて相談すべきとの意見も出されたが、ロシアからその判断を WP7B で行うことは適切ではなく、この段階で SG3 に対して照会するとなれば、文書の承認を遅らせる可能性があるとの意見が述べられたため、この提案は含められなかった。

<審議結果>

- 新報告草案に対する米国、ロシア、及び ESA からの修正提案をまとめたリエゾン返書

案が作成され(TEMP/67)、プレナリでも特段の意見はなく承認された。

#### 5.1.5. WG7B-1 が担当する ITU-R 勧告と研究課題の見直し

入力文書: 7B/277 Annex 2, 3(WP7B 議長)※前研究会期の文書

出力文書: 7B/TEMP/80

- WP7B の所掌となっている SA.シリーズの勧告のステータス(7B/277 (Annex 2)(※前研究会期の文書))について、WG7B-1 議長による修正提案が示され、審議が行われた。この結果、以下の勧告の「Proposed Action」の箇所について、記述内容の更新が提案された。
  - SA.363-5:新勧告草案 SA.[2 GHz SOS CHAR]が参照されているが、文書はすでに SG7 にて承認済みであることから、ITU-R 勧告 SA.2169 と修正された。
  - SA.514-3 と SA.609 の行において、ITU-R 新勧告草案 SA.[2 GHz SOS CHAR]が参照されているが新勧告草案 SA.[2 GHz SRS EESS CHAR]に修正された。
  - 表の最後に、前回 SG7 で承認された ITU-R 勧告 SA.2169 を追加し、また作業中の新勧告草案 SA.[2 GHz SRS EESS CHAR]の作業と関連して見直しが必要と指摘された ITU-R 報告 SA.2488 が追加された。

<審議結果>

- 前回 SG7 の今回合会における作業の結果を反映した更新版が作成され、他 WG の結果と合わせて議長報告に添付された(TEMP/80)
- 研究課題については改訂・廃止の必要は認められなかった。

#### 5.2. WRC-27 議題 1.15 (静止軌道以遠の宇宙研究業務及び宇宙運用業務等)関係

WG 7B-2 にて議論され、Kevin KNIGHTS 氏(オーストラリア)が議長を務め、以下に示す検討案件について審議した。なお、下記の 3. の検討案件については、Drafting Group(DG)を設置し、審議が行われた。

【主な検討案件と審議結果】

1. WRC-27 議題 1.15 に関する活動計画案の更新を審議し、議長報告書へ添付されることとなった。(7B/TEMP/79)
2. WRC-27 議題 1.15 に基づく研究のために他の作業部会から受領したりエゾン文書が了知され、対応不要であることが確認された。
3. WRC-27 議題 1.15 と議題 1.11 及び議題 1.13 にて重複している検討対象周波数について、各議題は独立して取り扱うことができるとの見解を WP 4C ヘリエゾン文書にて連絡することとなった。(7B/TEMP/69)
4. ITU-R 新報告草案 SA[LUNAR 1.15 STUDIES] に向けた作業文書の更新を審議し、議長報告書に添付されることとなった。(7B/TEMP/78)
5. 月での宇宙研究業務の代表特性及び運用構想に向けた作業文書について、議長報告書への再添付はしないこととなった。
6. WRC-27 会合のための議題 1.15 の CPM テキスト案に向けた作業文書の更新を審議し、議長報告に添付されることとなった。(7B/TEMP/81)

7. ITU-R 新報告草案 SA.[FUTURE LUNAR COMMUNICATION AND SYSTEMS STUDY] に向けた作業文書の更新を審議し、議長報告に添付されることとなった。
8. 各寄与作業部会への WRC-27 議題 1.15 に基づく活動の進捗状況の連絡を本議題の各寄与作業部会にリエゾン文書を送付することとなった。
9. 議題 1.15 に基づく必要な特性情報の提供を求めることを関連する寄与作業部会にリエゾン文書を送付することとなった。
10. WG 7B-2 に割り振られた ITU-R 勧告 SA シリーズの状況及び ITU-R 研究課題の状況を確認した。

#### 5.2.1. WRC-27 議題 1.15 に関する活動計画案

入力文書: 7B/150 ANNEX 3(WP 7B 議長)

出力文書: 7B/TEMP/79

- 決議第 680(WRC-23)に基づく WRC-27 議題 1.15 に関する活動計画案(7B/150 ANNEX 3)の更新を審議し、WP 7B 会合の議長報告書に添付することで、更新した活動計画案(7B/TEMP/79)を WP 7B プレナリに上程した。

<審議結果>

- WRC-27 議題 1.15 に関する活動計画案が更新された。議長報告に添付し、次回の会合以降も引き続き更新していく。

#### 5.2.2. WRC-27 議題 1.15 に基づく研究のために他の作業部会から受領したリエゾン文書の確認

入力文書: 7B/151(WP 7D)、7B/156(WP 5C)、7B/163(WP 3J)

出力文書: なし

- WRC-27 議題 1.15 の研究のために各寄与作業部会(WP 3J、WP 5D、WP 7D)から受領したリエゾン文書を確認した。

<審議結果>

- 文書の内容が了知され、返答する必要がある文書はないことが確認された。

#### 5.2.3. WRC-27 議題 1.15 と議題 1.11 及び議題 1.13 にて重複している検討対象周波数の検討

入力文書: 7B/153(WP 4C)、7B/180(米国)、7B/181(米国)

出力文書: 7B/TEMP/69

- WP 4C からのリエゾン返書(7B/153)では、移動衛星業務(宇宙から宇宙)から月近傍における宇宙研究業務への干渉について、議題 1.11 及び 1.13 は、議題 1.15 とは独立に取り扱うことができるとの見解が紹介された。
- 米国からは、議題 1.15 と他の議題(1.11 及び 1.13)で重複している周波数帯における干渉検討が実施された結果が示された。議題 1.11 と重複する 2483.5-2500 MHz について、月近傍における宇宙研究業務から移動衛星業務(宇宙から宇

宙)への干渉を最悪ケースでの静的解析により評価した結果、いずれのシナリオでも保護基準に対し著しい余裕があり、二つの議題は独立して取り扱うことができるとの見解が紹介された(7B/180)。議題 1.13 と重複する 2500-2690 MHz についても、月近傍における宇宙研究業務から移動衛星業務(地球から宇宙)(DC-MSS-IMT)への有害な干渉がないとの検討結果が示され、二つの議題は独立して取り扱うことができるとの見解が紹介された(7B/181)。

- 米国から入力された2つの検討結果を基に、議題 1.15 に基づく月近傍における宇宙研究業務から議題 1.11 に基づく移動衛星業務(宇宙から宇宙)及び議題 1.13 に基づく移動衛星業務(地球から宇宙)(DC-MSS-IMT)への干渉の可能性について、保護基準に対し著しい余裕がある見解が共有された。

#### <審議結果>

- WRC-27 議題 1.15 と議題 1.11 及び議題 1.13 における検討は独立して取り扱うことができるとの見解を示す連絡文書を WP 4C へ送付することとなり、連絡文書案(7B/TEMP/69)を WP 7B プレナリへ上程した。

#### 5.2.4. ITU-R 新報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] に向けた作業文書の更新

入力文書:7B/150 ANNEX 1(WP 7B 議長)、7B/168(中国)、7B/170(ロシア)、7B/175(ドイツ)、7B/178(韓国)、7B/183(米国)、7B/188(カナダ)

出力文書:7B/TEMP/78

- 本作業文書には、各国から提供された各検討周波数帯における既存業務との干渉検討に関する研究結果がまとめられている。
- 韓国から提出された研究結果のうち、7190-7235 MHz における IMT 地上コンポーネントとの干渉検討について、当該周波数帯に既存の IMT 分配がなく、また、提出された内容に誤りがあることが判明したため、韓国は当該部分に係る研究結果を取り下げ、次回会合において誤りを訂正した研究結果を再度提出すると説明した。
- 406-406.1 MHz の月通信から COSPAS-SARSAT システムへの干渉の懸念に関するカナダの研究結果(7B/188)について、フランスから、本研究結果の一部シナリオは、ICAO の要求する極端な安全マージンを含む想定が含まれているため、他の主管庁からの異なる研究結果が必要であるとの意見が述べられた。ロシアから、筐体による減衰を考慮に入れるかどうかについて、全てのシナリオにおいて検討すべきとの意見が述べられた。カナダは、各意見を考慮のうえ、次回会合に向けて詳細を更新すると説明した。カナダの研究の概要を要約した文章が本作業文書に取り込まれることとなった。
- 本作業文書の文章表現や技術的な誤りを訂正するなどの見直しが行われた。各研究結果は宇宙研究業務から既存業務への干渉のみが検討されており、既存業務から宇宙研究業務への干渉が検討されていないことから、ロシアから「〇〇業務との共用は可能である」とされていた表現を「〇〇業務の保護は確立された」とような表現とするべきとの意提案があり、そのとおり全体に反映された。また、文書の標題について作業班議長から「working document towards」を削除し、新報告草案へ格上げすることについて意見が求められた。ロシアなどから未だ多くの項目が「TBD」として未完了となっていることを理由に作業文書のままとすべきとの意見があり、WP 7B プレナリにて再度議論されることとなった。

<審議結果>

- 寄与文書に基づき、ITU-R 新報告草案 SA[LUNAR 1.15 STUDIES] に向けた作業文書の更新を審議した。各主管庁からの多くの研究結果が寄せられたが、依然として研究が未完了の部分も残されている。議長報告に添付し、引き続き更新作業を継続することとなった。

#### 5.2.5. 月での宇宙研究業務の代表特性及び運用構想に向けた作業文書の作成

入力文書:7B/150 ANNEX 4(WP 7B 議長)

出力文書:なし

- 本作業文書には日本のシステムに関する情報のみ含まれている。WG 7B 議長から本文書はこれまでの会合において進展がないことから、次回議長報告への添付の必要性について意見が求められ、日本は今回の会合の議長報告書へ添付しないことに同意した。

<審議結果>

- 本作業文書は作業部会議長報告への再添付はしないこととなった。

#### 5.2.6. WRC-27 議題 1.15 の CPM テキスト案に向けた作業文書の更新

入力文書:7B/150 ANNEX 2(WP 7B 議長)、7B/182(米国)

出力文書:7B/TEMP/81

- 米国から WRC-27 議題 1.15 の CPM テキスト案に向けた作業文書の更新が提案された。イランより、引き続き、各寄与作業部会からの研究に必要な特性情報等の提供を待っている状態であるため、特に、Methods と規制に関する記載については、急いで作成するべきではないこと、事実に基づいた内容とするべきであること等について意見が述べられた。
- 5.1.4 項にて議論された ITU-R 新報告草案 SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] から、完了している研究結果の結果概要の項目を反映するのみで、Method や規則条項に関する記述の更新はなかった。

<審議結果>

- CPM テキスト案に向けた作業文書は再び議長報告に添付し、今後の共用検討の進捗を踏まえ、完成に向けて更新することとなった。

#### 5.2.7. ITU-R 新報告草案 SA.[FUTURE LUNAR COMMUNICATION AND SYSTEMS STUDY] に向けた作業文書の作成

入力文書:7B/179(米国)

出力文書:7B/TEMP/76

- 本作業文書は、決議第 680(WRC-23)の invites the ITU Radiocommunication Sector 2 に記載されている内容に対処するものであることが説明された。
- ロシアから、国際宇宙ステーションを例とすると、全てのフィーダーリンクは宇宙研究

業務にて対応されており宇宙研究業務を超えた業務の必要性は合理的ではないため、第4節(月環境における活動支援に必要な無線通信業務の評価)及び第5節(月環境における周波数管理推進のための既存規則手続きの検討)について、詳細に取り組むべきではないとの意見が表明された。

<審議結果>

- 寄与文書に基づき、ITU-R 新報告草案 SA.[FUTURE LUNAR COMMUNICATION AND SYSTEMS STUDY] に向けた作業文書が作成された。議長報告に添付し、引き続き更新作業が継続されることとなった。

#### 5.2.8. 各寄与作業部会への WRC-27 議題 1.15 に基づく活動の進捗状況の連絡

入力文書:なし

出力文書:7B/TEMP/82

- 米国の協力により議長が準備した文書(※)に基づき、共用・両立性検討の状況について、確認を行った。

※ 宇宙研究業務(宇宙から宇宙)に新規分配を行う候補周波数帯ごとに、既存業務とその分配されている周波数帯、それぞれの既存業務との共用・両立性検討としてどのような干渉解析がなされたかが記載された表を提示しているものであり、すでに実施されている共用・両立性検討が明確化されている。

<審議結果>

- WRC-27 議題 1.15(決議第 680(WRC-23))に基づく WP 7B での活動の進捗状況を、本議題の各寄与作業部会(WP 1B、WP 3J、WP 4A、WP 4C、WP 5A、WP 5B、WP 5C、WP 5D、WP 7A、WP 7C、WP 7D)へリエゾン文書で連絡することとなり、リエゾン文書案(7B/TEMP/82)をプレナリへ附議した。
- WRC-27 議題 1.15 に基づく WP 7B での活動の進捗状況を本議題の各寄与作業部会にリエゾン文書を送付することとなった。

#### 5.2.9. WRC-27 議題 1.15 に関する必要な特性情報を引き続き要求する寄与作業部会へのリエゾン文書

入力文書:なし

出力文書:7B/TEMP/83

- 上記 5.1.8 項にて確認された進捗状況から、共用検討のために未だ不足している特性情報が識別されたことに基づき、引き続き必要な特性情報を要求するため、関連する寄与作業部会(WP 4A、4C、5B 及び 5C)へのリエゾン文書案が作成された。
- リエゾン文書案では、次回の WP 7B 会合が2026年3月に予定されていることから、それまでに情報提供を求めることとなった。

<審議結果>

- 特性情報を要求するためのリエゾン文書案 WP 4A、4C、5B 及び 5C に送付することで、リエゾン文書案(7B/TEMP/83)をプレナリへ附議した。

- WRC-27 議題 1.15 に基づく必要な特性情報の提供を求めることを関連する寄与作業部会に連絡文書で連絡することとなった。

#### 5.2.10. WG 7B-2 に割り振られた ITU-R 勧告 SA シリーズ及び研究課題の状況確認

入力文書: 7B/277(2023年10月開催 WP 7B 会合議長報告) ANNEX 2(WP 7B 議長)、7B/277(2023年10月開催 WP 7B 会合議長報告) ANNEX 3(WP 7B 議長)

出力文書: なし

- WG 7B-2 に割り振られている ITU-R 勧告 SA シリーズ及び研究課題の状況を確認した。

#### <審議結果>

- ITU-R 勧告 SA.510 について、改訂は不要との内容へ訂正された。
- ITU-R 勧告 SA.1014 について、勧告の更新番号と更新日付が訂正された。
- ITU-R 勧告 SA.1015 について、次の機会に確実に議論を開始できるよう、状況に関する記述を変更する提案がされ、反映された。
- ITU-R 勧告 SA.1882 について、将来 WRC-31 議題の研究に供されるため、注意深く見直すことが奨励された。
- 全ての研究課題が改訂なしであることが確認された。

### 5.3. 地球探査衛星業務(EESS)及び気象衛星(MetSat)業務等

WG7B-3 にて議論され、Philippe Tristant 氏(フランス/EUMETSAT)が議長を務め、地球探査衛星業務(EESS)及び気象衛星(MetSat)業務等について審議した。

#### 【主な検討案件と審議結果】

1. ITU-R 勧告 SA.514 の改訂作業を進めるため、作業文書に情報提供用テンプレートを追加した。情報交換を目的とした CG 設置が提案され WG において合意されたが、プレナリで合意できず設置されなかった。
2. ITU-R 報告 RA.2488 改訂草案に向けた作業文書を更新した。
3. ITU-R 新報告草案 SA.[EESS\_NGS 7-8GHz]に向けた作業文書を更新した。
4. WRC-31 暫定議題 2.10 及び 2.11 に関連して作成が提案されている新報告草案に向けた作業文書の要素2件を更新した。

#### 5.3.1. ITU-R 勧告 SA.514 の改訂

入力文書: 7B/150 Annex 8(WP7B 議長)

出力文書: 7B/TEMP/73、75

- ITU-R 勧告 SA.514-3(地球探査衛星業務および気象衛星業務で運用されるコマンド及びデータ伝送システムの干渉基準)は、EESS と MetSat 業務の干渉基準を定める勧告である。

- 最後の改訂が 1997 年 10 月であり、約30年間にわたり更新されていないことから、前研究会期に改訂の必要性が合意され作業を開始したものの、2021 年の会合以降入力文書がなく、勧告改訂草案に向けた作業文書が修正されないまま持ち越されてきた。2025 年 3 月の会合で WRC-27 議題 1.7(IMT 特定)で扱われる周波数帯における保護基準なども記載されている重要な勧告であり、改訂作業を再開するため改めて入力文書を募ることで合意した(7B/150 Annex 8)。
- 今回会合においても新たな寄与文書は提出されなかったことから、作業の継続の是非を含む今後の方針についての議論が行われた。この過程で、ロシアから改訂作業の主な内容であるシンプルなリンクバジェット情報の提供を容易にするため、テンプレートを提供することを提案し、Editor's Note としてテンプレートを追加した TEMP 文書(7B/TEMP/73)を作成して持ち越し、議長報告に新たな寄与文書を求める文言を含めることで合意した。
- また、次回会合までの期間に情報交換を行う目的で Correspondence Group (CG)を設置して情報をまとめ、各主管庁からの寄与文書の作成に活用できる報告の作成を行うことが提案された。EESS のリンクバジェット情報の収集と意見交換のみに限られ、勧告自体の改訂提案はしないとする付託事項案(ToR 7B/TEMP/75)で合意したが、プレナリにおいてイランが重要な保護基準について CG で議論することになるとして CG 設置に反対を表明した。WG7B-2 議長は本 CG の付託事項は情報交換であり勧告自体の修正は行わないと説明したものの合意に至らず、CG の設置は断念した。代替案として WG7B-3 議長を中心として、有志によるオフラインメールグループにおいて情報交換を行うこととした。

#### <審議結果>

- シンプルなリンクバジェットの情報提供を募集するためのテンプレートを追加した作業文書を議長報告に添付し、持ち越すことになった。新たな寄与文書の提出が呼びかけられている。
- 情報交換のための CG は設置されなかった。

### 5.3.2. ITU-R 報告 SA.2488 の改訂

入力文書: 7B/150 Annex 6(WP7B 議長)、172(日本)

出力文書: 7B/TEMP/70

- ITU-R 報告 SA.2488-0(EESS 及び MetSat 業務で運用されるシステムへの干渉評価及び共用検討に使用すべき特性)は、EESS 及び MetSat のシステムから及びこれらのシステムへの干渉の可能性を分析するために使用できる様々なシステムの運用特性をまとめたものである。2024 年 3 月会合において WRC-27 議題 1.7 に関連する議論の過程で改訂が必要であることが認識され、2024 年 9 月の会合において複数の寄与文書が提出されたことから改訂作業を開始した。
- 前回会合で更新された作業文書(7B/150 Annex 6)に対し、今回会合では我が国から、新たに 25.5-27GHz のシステムを追加するほか、一部のシステムのパラメータの更新を提案する寄与文書を提案した。

#### <審議結果>

- 我が国からの提案に対しては特段の意見はなく、提案を反映した TEMP 文書が作成され、作業文書のステータスのまま次回会合に持ち越すことで合意した(7B/TEMP/70)。

### 5.3.3. ITU-R 新報告草案 SA.[EESS\_NGS 7-8GHz]

入力文書: 7B/150 Annex 7(WP7B 議長)、7B/189(フランス・ドイツ)

出力文書: 7B/TEMP/74

- 7190-8400MHz 帯で運用する地球探査衛星業務用の衛星システムの発展に関する ITU-R 新報告草案 SA.[EESS NGS 7-8GHz]に向けた作業文書は、2024 年にフランスとドイツが提案して作成作業が開始された。当初は 7-8GHz で運用される非政府系の EESS 衛星システムに関する情報をまとめる文書をとって策定を開始したが、2025 年 3 月会合では政府系・非政府系の区別をなくし、未解決の内容については Editor's Note を追加したうえで、作業文書として議長報告に添付して持ち越された(7B/150 Annex 7)。また、WRC-27 議題 1.19(4200-4400MHz 及び 8400-8500MHz の周波数帯における、地球探査衛星業務(受動)への全地域の一次分配の検討)にも関連するため、同議題の責任グループである WP7C へ新報告草案に向けた作業文書が策定中であることを通知するリエゾン文書を送付した。
- 今回会合において、フランスとドイツが共同で、前回会合において寄せられた意見への対応を目的とした寄与文書を提出し、3.1.6 項の表題を Security から Civil Protection and Security Application に修正することや使用例の追加、及び 5 章 結論の文章の加筆を行い、新報告草案に格上げすることを提案した(7B/189)。
- 新たな寄与文書に対して、米国からは懸念が残るとしてオフラインでの協議が申し入れられた。協議の結果、フランスとドイツによる寄与文書に、米国の意見を以下の Editor's Note として追加した形の TEMP 文書を作成し、次回会合に持ち越すことになった(7B/TEMP/74)。
  - タイトルと導入部に、7190-8400MHz という周波数範囲の中には Uplink と Downlink のセグメントがあり、全体を使うわけではないことを明確にすべきである旨の記述。
  - ITU-R 報告 SA.2488(EESS および MetSat 業務で運用されるシステムへの干渉評価及び共用検討に使用すべき特性)にも共用検討に使用すべき特性が提供されているが、既存システムと計画されているシステムの違いは何かを明確にすべきであるとの記述
  - 第 3.1 項(新たなアプリケーション)について、リモートセンシングの技術的な側面に注力すべきであり、例として少数のアプリケーションを掲載すべきである。現在掲載されている一部の使用例は詳細すぎるか、非通信関連情報が多すぎる。このような課題を解消するための寄書の提出を広く募集する旨の意見
  - 第 3.3 項及び結論部について、デプロイメントシナリオの進化については議論が必要との見解。

#### <審議結果>

- Editor's Note が追加された形で TEMP 文書が作成され、議長報告に添付して持ち越された。
- 作業文書から新報告草案に格上げすることが WG における議論では合意されたが、プレナリにおける審議の際、本会合におけるすべての作業文書の格上げを反対する旨の意見がイランから表明されたことから、本文書についても格上げに合意できず、作業文書のステータスで持ち越されることになった。

#### 5.3.4. WRC-31 暫定議題 2.10 及び 2.11

入力文書: 7B/150 Annex 9、10(WP7B 議長)、176(ESA)、177(ESA)

出力文書: 7B/TEMP/71、72

- 前回の WP7B 会合において、WRC-31 暫定議題のうち、以下の 2 件の暫定議題について、ITU-R 新報告策定に向けた補助資料の要素がそれぞれ ESA から提案され、以下の文書を持ち越すことで合意した。
  - ITU-R 報告 SA.[EESS UPLINKS-23GHZ]作成の補助資料に向けた作業文書(WRC-31 暫定議題 2.10(22.55-23.15GHz 帯における EESS(地球から宇宙)への新規 1 次分配の可能性の検討)(7B/150 Annex 9)
  - ITU-R 報告 SA.[EESS-DOWNLINKS-37.5 TO 52.4 GHZ]作成の補助資料に向けた作業文書(WRC-31 暫定議題 2.11([37.5-40.5GHz]帯における地球探査衛星業務(宇宙から地球)の 2 次分配への格上げ、または[40.5-52.4GHz]帯のある周波数における地球探査衛星業務(宇宙から地球)への新たな世界的 1 次分配の可能性の検討)(7B/150 Annex 10)
- 今回会合においては、ESA からこれら要素に対する修正提案が提出された。暫定議題 2.10 については、主に編集上の修正を提案(7B/176)、また暫定議題 2.11 については、周波数要件や新規一次分配への実現についての説明の追加の他、一般的な検討事項の追加が提案された(7B/177)。

#### <審議結果>

- WRC-31 暫定議題に関する項目であることから、内容は参考という扱いであり、特段内容の議論をすることなく、2 件の寄与文書を反映した要素文書を作成して議長報告に添付して持ち越された(7B/TEMP/71(暫定議題 2.10)、72(暫定議題 2.11))。

#### 5.4. 宇宙研究通信ハンドブックの改訂

プレナリ直下に Drafting Group(DG)が設置され、福原氏(日本、JAXA)が議長を務め、宇宙研究通信ハンドブック改訂作業を行った。

入力文書: 7B/150 Annex 11(WP7B 議長)、7B/166(インド)、174(日本)

出力文書: 7B/TEMP/84

- 宇宙研究通信ハンドブックの改訂は、2025 年 3 月に開催された第 7 研究委員会(SG 7)において、承認権限が研究委員会(SG 7)から作業部会(WP 7B)に委譲されている。また、前回の会合までは作業班(WG 7B-2)で検討作業が進められてきたが、今回の会合では作業部会(WP 7B)で検討、審議されることとなった。
- 宇宙研究通信ハンドブック改訂案(7B/150 Annex 11)に関し、日本及びインドから、宇宙探査ミッションを紹介する「添付 3 宇宙探査ミッション」への宇宙探査ミッション情報の追加や更新が提案された(7B/174 及び 7B/166)。
- 日本からの提案により、福原氏(日本)を議長とする Drafting Group(DG)が設置され、宇宙研究通信ハンドブックの改訂案が検討された。DG には、日本の他、インド、米国、欧州宇宙機関(ESA)及びオーストラリアが参加し、途中から中国も参加した。
- DG では、主に、添付 3 の宇宙探査ミッション情報について、WP 7B 本会議での

ATDI 社や米国からの表示順の指摘や、DG での欧州宇宙機関(ESA)からの分類化の提案について議論され、ミッションは、アルファベット順に更新され、8 つの分野に分類された。

<審議結果>

- さらに、日本、インド、米国、欧州宇宙機関(ESA)及び中国が、添付 3 の宇宙探査ミッション情報を更新、追加し、ハンドブックの改訂履歴、前書き、序文などを更新したうえで、DG は、WP 7B プレナリに宇宙研究通信ハンドブックの改訂案を上程した(7B/TEMP/84)。
- DG はハンドブック改訂の承認審議を提案したが、イランが、ハンドブックの表題やいくつかの目次の章題(現行版から変更はされていない)に異議を唱えたことから、議長報告書に添付して、次回の会合にて更に審議されることとなった。

表 5 WP7B への入力文書一覧

文書番号 7B/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
148	BR, Study Groups Department	List of documents issued - (Documents 7B/94 - 7B/148)	—
149	Director, BR	Final list of participants - Working Party 7B (Geneva, 17-26 March 2025)	—
150	Acting Chair, WP 7B	Report of the meeting of Working Party 7B (Geneva, 17-26 March 2025)	Plenary
151	WP 7D	Liaison statement to Working Party 7B - Use of the SZM for radio astronomy in the context of WRC-27 agenda item 1.15	WG7B-1
152	World Meteorological Organization	Preliminary position on WRC-27 agenda - Preliminary WMO position on the World Radiocommunication Conference 2027 (WRC-27) agenda	Plenary
153	WP 4C	Reply liaison statement to Working Party 7B - Assessment of frequency overlaps between WRC-27 agenda items 1.11, 1.13 and 1.15	WG 7B-2
154	WP 4C	Liaison statement to Working Parties 3L, 3M, 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B, 7C, and 7D regarding progress of work on WRC-27 agenda item 1.11	Plenary
155	Director, BR	Additional information on the summary of conclusions of the 32nd meeting of the Radiocommunication Advisory Group for the attention of all ITU-R Study Groups and Working Parties	Plenary
156	WP 5C	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 7B - Report on progress of activities relating to WRC-27 agenda item 1.15	WG7B-2
157	WP 4A	Reply liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 4C, 7B and 7D) - Technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.7	Plenary
158	WP 4A	Reply liaison statement to Working Party 7B - WRC-27 agenda item 1.2	WG7B-1
159	WP 3M	Liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 4A, 5A, 5B, 5C, 5D and 7B for information) - Update on propagation modelling for WRC-27 agenda item 1.19	Plenary
160	WP 3M	Liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B and 7D for information) - Update on propagation modelling for WRC-27 agenda item 1.17	Plenary
161	WP 3M	Liaison statement to Working Parties 4A and 5B (copy to Working Parties 5A, 5C, 7A, 7B and 7C for information) - Update on propagation modelling for WRC-27 agenda item 1.2	Plenary
162	WP 3M	Liaison statement to Working Party 4C (copy to Working Parties 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D for information) - Update on propagation modelling for WRC-27 agenda items 1.11, 1.12, 1.13 and 1.14	Plenary

163	WP 3J	Liaison statement to Working Party 7B (copy to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A, 7C and 7D for information) - Report on progress of activities relating to WRC-27 agenda item 1.15	WG7B-2
164	WPs 3K and 3M	Liaison statement to Working Party 5D (copy to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 7B, 7C and 7D for information) - Update on propagation modelling for WRC-27 agenda item 1.7	Plenary
165	WP 5D	Reply liaison statement to Working Party 7B - Coordination between space research service (deep space) stations operating in the band 7 145-7 190 MHz and IMT stations operating in the band 6 425-7 125 MHz	WG7B-1
166	India	Draft revision of the Handbook on space research communication (2014)	Ple-nary(DG Space Re-search Com Hand-book)
167	India	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2 GHz SRS & EESS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space research service (SRS) and Earth exploration service system (EESS) that use the 2 025-2 120 MHz frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing and compatibility studies	WG7B-1
168	China	Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] - Sharing studies of space research systems for lunar operations under WRC-27 agenda item 1.15	WG7B-2
169	Russian Federation	Proposals for draft reply liaison statement to Working Party 5D - Coordination between space research service (deep space) stations operating in the band 7 145-7 190 MHz and IMT stations operating in the band 6 425-7 125 MHz	WG7B-1
170	Russian Federation	Proposals for working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES]	WG7B-2
171	Japan	Proposed modification to preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems in the 2 025-2 120 MHz frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing and compatibility studies	WG7B-1
172	Japan	Proposal for update on working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SA.2488-0 - Characteristics to be used for assessing interference to systems operating in the Earth exploration-satellite and meteorological-satellite services, and for conducting sharing and compatibility studies	WG7B-3
173	Japan	Proposed liaison statement to Working Party 4C concerning WRC-27 agenda item 1.13	WG7B-1

174	Japan	Proposal for update on the draft revision of the Handbook on space research communication	Ple-nary(DG Space Re-search Com Hand-book)
175	Germany	Proposed changes to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] - Sharing studies of space re-search systems for lunar operations under WRC-27 agenda item 1.15	WG7B-2
176	European Space Agency (ESA)	Working document in support of possible Report ITU-R SA.[EESSUPLINKS-23GHZ] - Potential future EESS (Earth-to-space) in the 22.55-23.15 GHz band	WG7B-3
177	European Space Agency (ESA)	Working document in support of possible ITU-R SA.[EESS-DOWNLINKS-37.5 TO 52.4 GHZ] - Potential future EESS (space-to-Earth) in the frequency range [37.5-52.4 GHz]	WG7B-3
178	Korea (Rep. of)	Proposed modification to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] - Sharing studies of space research systems for lunar operations under WRC-27 agenda item 1.15	WG7B-2
179	United States	Working document toward preliminary draft new Report ITU-R SA.[Future lunar communication and systems study] - Radiocommunication needs for future lunar vicinity activities beyond space research and consideration of associated radio-communication services and sufficiency of existing regulatory provisions	WG7B-2
180	United States	Preliminary calculation of interference from lunar surface SRS to MSS (space-to-space) in frequency bands overlapped by WRC-27 agenda items 1.15 and 1.11	WG7B-2
181	United States	Preliminary calculation of interference from lunar surface SRS to DC-MSS-IMT in frequency bands overlapped by WRC-27 agenda items 1.13 and 1.15	WG7B-2
182	United States	Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.15	WG7B-2
183	United States	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SA.[LUNAR 1.15 STUDIES] - Sharing studies of space research systems for lunar operations under WRC-27 agenda item 1.15	WG7B-2
184	United States	Draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHz SRS & EESS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems in the 2 025-2 120 MHz frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing and compatibility studies	WG7B-1
185	United States	Draft reply liaison statement to Working Party 4A - WRC-27 agenda item 1.2 - Characteristics of space research service systems operating in	WG7B-1

		the 13.75-14.0 GHz band	
186	United States	Draft reply liaison statement to Working Party 5D - Coordination between space research service (deep space) stations operating in the band 7 145-7 190 MHz and IMT stations operating in the band 6 425-7 125 MHz	WG7B-1
187	Canada	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SA.[2.0 GHZ SRS & EESS CHAR] - Technical and operational characteristics of the space research service and Earth exploration-satellite service systems in the 2 025-2 120 MHz frequency band to be used for assessing interference and for conducting sharing and compatibility studies	WG7B-1
188	Canada	Potential interference to COSPAS-SARSAT from lunar communications	WG7B-2
189	Germany , France	Proposed modifications to the working document towards a draft new Report ITU-R SA.[EESS NGS 7-8GHZ] - Evolution of Earth exploration-satellite service systems in the frequency range 7 190 to 8 400 MHz	WG7B-3